

5章 都市福利施設を整備する事業に関する事項

[1] 都市福利施設の整備の必要性

(現状分析)

中心市街地には、中央公民館や教育総合センター、市立病院、勤労者交流センター、市民福祉プラザ、かごしま県民交流センター、国県市の庁舎等が多数立地し、街なか居住の増進や市民の福祉向上、交流人口の増大等によるにぎわいの創出に寄与している。

第1期基本計画においては、少子高齢社会の進行による人口の停滞や減少、人口構成の変化による都市活力の減退を予測し、都市福利施設の整備と既存施設の有効活用を図ることを課題に掲げ、観光施設であるかごしま水族館の改修や維新ふるさと館のリニューアルを行ったほか、観光交流センターや親子つどいの広場の整備、娯楽施設である天文館シネマパラダイスを核とするLAZO表参道の整備、三越閉店後の空きビルを活用した商業交流施設・マルヤガーデンズの整備等により、中心市街地の活性化を推進してきたところである。

第2期基本計画において新たに計画区域に編入した歴史・文化ゾーンには、市立美術館、かごしま近代文学館、かごしまメルヘン館、県立図書館、歴史資料センター黎明館などの教育文化施設が集中して立地し、隣接するいづろ・天文館地区との立地性による利便性も加わり年間130万人を超える利用者がこれらの施設を訪れている。

(都市福利施設の整備の必要性)

公共施設や業務施設、商業施設等の多様な都市機能がコンパクトに集積した中心市街地は、高齢者やファミリー層世帯を含め様々な世代に対する都心ライフの利便性、魅力を提供しており、今後も、少子高齢社会、成熟社会を前提に定住人口・交流人口の増加を図ることによって、都市の活力を維持増進するため、既存の都市福利施設の有効活用が必要である。

歴史・文化ゾーンは、本市固有の魅力ある収蔵物を展示する施設が集積し、多くの市民や観光客が訪れる区域であり、隣接するいづろ・天文館地区との連携を図りながら、さらなる魅力向上に努める必要がある。

また、商業・業務機能の集積地である中心市街地は行政サービスの中心地でもあり、毎日多くの市民が市役所を来訪することから、利用する市民の安全性・利便性・快適性と行政機能の効率性の向上に努める必要がある。

(フォローアップの考え方)

毎年度、事業の進捗状況の調査を行い、状況に応じて事業促進などの改善措置を講じる。また、計画期間満了時に取組の検証・評価を行い、引き続き中心市街地活性化の効果的な推進を図るものとする。

[2] 具体的事業の内容

(1) 法に定める特別の措置に関連する事業

該当なし

(2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p>事業名：14 鹿児島市立病院建設事業</p> <hr/> <p>内容： 市立病院の移転新築 敷地面積 44,632 m² 延べ面積 52,606 m² 建物階数地上8階 塔屋1階</p> <hr/> <p>位置： 鹿児島中央駅地区</p> <hr/> <p>実施時期： H19年度～H26年度</p>	<p>鹿児島市</p>	<p>市民が24時間安心して生活できる医療機能を備え、高度で質の高い医療を提供し、市民の生命と健康を守る病院を建設する事業である。</p> <p>本県の中核的な医療機関である市立病院の移転整備は、鹿児島中央駅から市電で直接アクセスできるようになることから、利便性が向上するとともに、本市の市民福祉の向上、中心市街地への業務機能・都市機能の集積に寄与するものであり、中心市街地に必要な事業である。</p> <div data-bbox="584 1095 1062 1431" data-label="Image"> </div> <p>市立病院整備イメージ</p>	<p>支援措置： 社会資本整備総合交付金（暮らし・にぎわい再生事業（鹿児島中央駅地区））</p> <hr/> <p>実施時期： H19年度～ H26年度</p>	

(2) ②認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関連する事業
該当なし

(3) 中心市街地の活性化に資するその他の支援措置に関連する事業
該当なし

(4) 国の支援措置のないその他の事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	国以外の支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p>事業名：12 市役所本庁舎整備事業</p> <hr/> <p>内容： 「本庁舎整備基本構想」に基づく本庁舎の整備を実施</p> <hr/> <p>位置： 上町・ウォーターフロント地区</p> <hr/> <p>実施時期： H24年度～H31年度</p>	<p>鹿児島市</p>	<p>市役所本庁舎の別館A棟の耐震改修や西別館の整備を行い、中心市街地エリア外から保健所機能を移転するとともに、市民が憩える緑地空間（都市の杜）を整備する事業である。</p> <p>保健所機能の移転等により行政機能の効率化が図られ、業務機能の集積に寄与するとともに、市役所周辺の整備を行うことにより景観や環境と調和のとれた本庁舎となり、市民が憩える空間が生まれ、街なかのにぎわいの創出に寄与することから、中心市街地の活性化に必要な事業である。</p> <div data-bbox="588 1285 1059 1619" data-label="Image"> </div> <p>本庁舎整備イメージ</p>	<p>支援措置：</p> <hr/> <p>実施時期：</p>	

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	国以外の支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p>事業名：13 鹿児島市立美術館 施設整備事業</p> <p>内容： ミュージアムショップ等の施設整備</p> <p>位置： 歴史・文化ゾーン</p> <p>実施時期： H24年度～H28年度</p>	鹿児島市	<p>市立美術館の建物・機械・電気機器等の機能更新を行うとともに、ミュージアムショップや前庭を活用したオープンカフェ等を設置する事業である。</p> <p>新たな集客機能を加えることで、歴史・文化ゾーンの魅力向上につながり、隣接するいづろ・天文館地区との相互の交流が強化されることから、街なかのにぎわい創出に寄与するものであり、中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>	<p>支援措置：</p> <p>実施時期：</p>	
<p>事業名：15 東千石町12番街区整備事業</p> <p>内容： 商業施設等（商業施設・美術館・多目的広場・駐車場）の整備</p> <p>・建物延べ床面積： 約6,600㎡</p> <p>・立体駐車場：約160台</p> <p>位置： 東千石町12番街区</p> <p>実施時期： H26年度～</p>	岩崎産業(株)、財団法人岩崎育英文化財団	<p>いづろ・天文館地区において、電車通りに接する立地を生かして、小売・飲食の商業機能と郷土出身の偉人や画家の書画を展示する美術館や多目的広場を併設する複合施設を整備する事業である。</p> <p>商業・文化機能を持った拠点施設の整備により、中心市街地の集客力の向上とにぎわい創出に寄与することから、中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>	<p>支援措置：</p> <p>実施時期：</p>	

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	国以外の支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p>事業名：72 県立博物館リニューアル事業</p> <p>内容： 博物館本館常設展示室のリニューアル</p> <p>位置： 歴史・文化ゾーン</p> <p>実施時期： H28年度～H29年度</p>	鹿児島県	<p>県立博物館本館の3階常設展示室について、「鹿児島の人々と自然とのつきあい方」をテーマに、南北600kmにわたる本県の多様な自然、生態系と人との関わり等を魅力的に展示するためのリニューアルを実施する事業である。</p> <p>リニューアルの実施により、市民・県民が郷土を楽しく学ぶ場、また、多くの観光客が訪れ、本県の魅力の一端に触れる場となり、街なかのにぎわい創出に寄与することから、中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>	<p>支援措置：</p> <p>実施時期：</p>	
<p>事業名：78 国際交流センターの整備</p> <p>内容： 鹿児島の国際化のさらなる推進に向け、県と市が連携し、国際交流センターを整備する。</p> <p>位置： 加治屋町</p> <p>実施時期： H27年度～</p>	国際交流センター建設協議会	<p>旧市立病院立体駐車場等跡地において、国際社会に貢献する人材の育成や国際相互理解の促進のための拠点施設として国際交流センターを整備する事業である。</p> <p>外国人留学生や研究者等を受け入れるための宿泊機能と県民・市民と在住外国人とがふれあえる国際交流機能を有する施設の整備により、街なか居住の推進や都市機能の充実が図られ、街なかのにぎわい創出に寄与することから、中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>	<p>支援措置：</p> <p>実施時期：</p>	

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	国以外の支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p>事業名：80 維新ふるさと館展示更新事業</p> <hr/> <p>内容： 維新ふるさと館の幕末探訪・郷中教育コーナーの展示更新</p> <hr/> <p>位置： 加治屋町</p> <hr/> <p>実施時期： H29年度</p>	鹿兒島市	<p>平成30年に明治維新150周年を迎えることや大河ドラマ「西郷どん」の放送が決定したことを契機に、維新ふるさと館の展示更新を行う事業である。</p> <p>街なかのにぎわい創出と交流人口の増加に寄与することから、中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>	<p>支援措置：</p> <hr/> <p>実施時期：</p>	